

中央放射線部

1 スタッフ

部長（教授）	真鍋 徳子
副部長（教授）	白井 克幸
技師長	横溝 哲也
副技師長	松崎 仁
	紙 恭子
	横山 和宏
診療放射線技師	52名

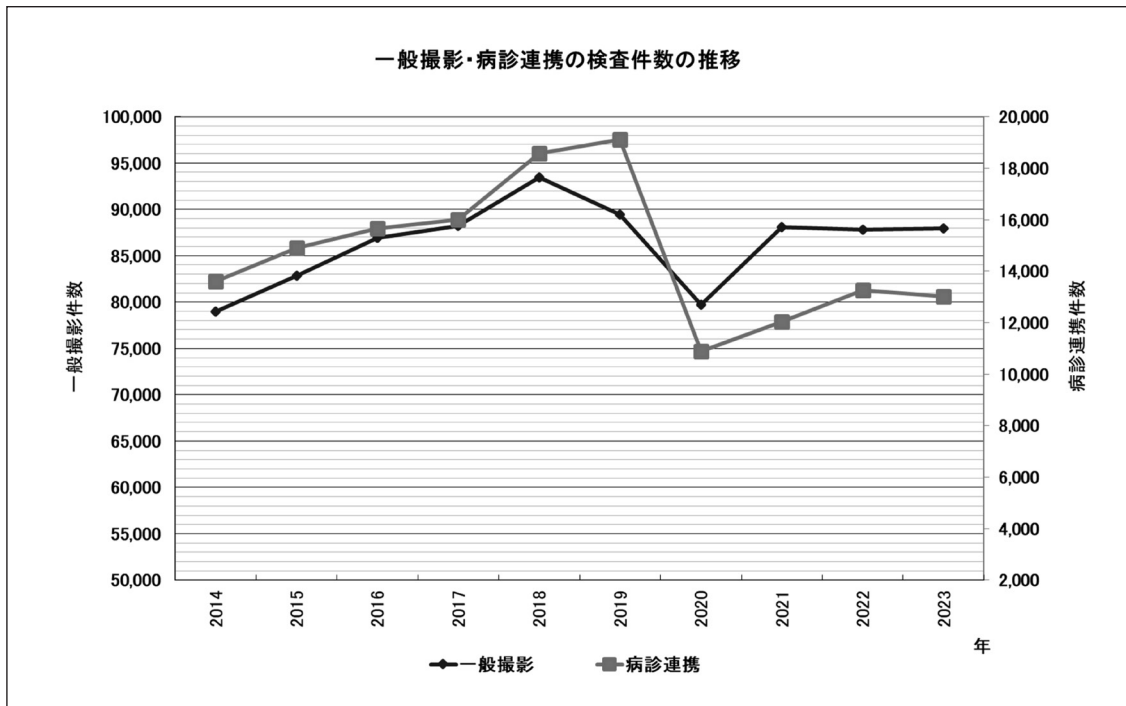
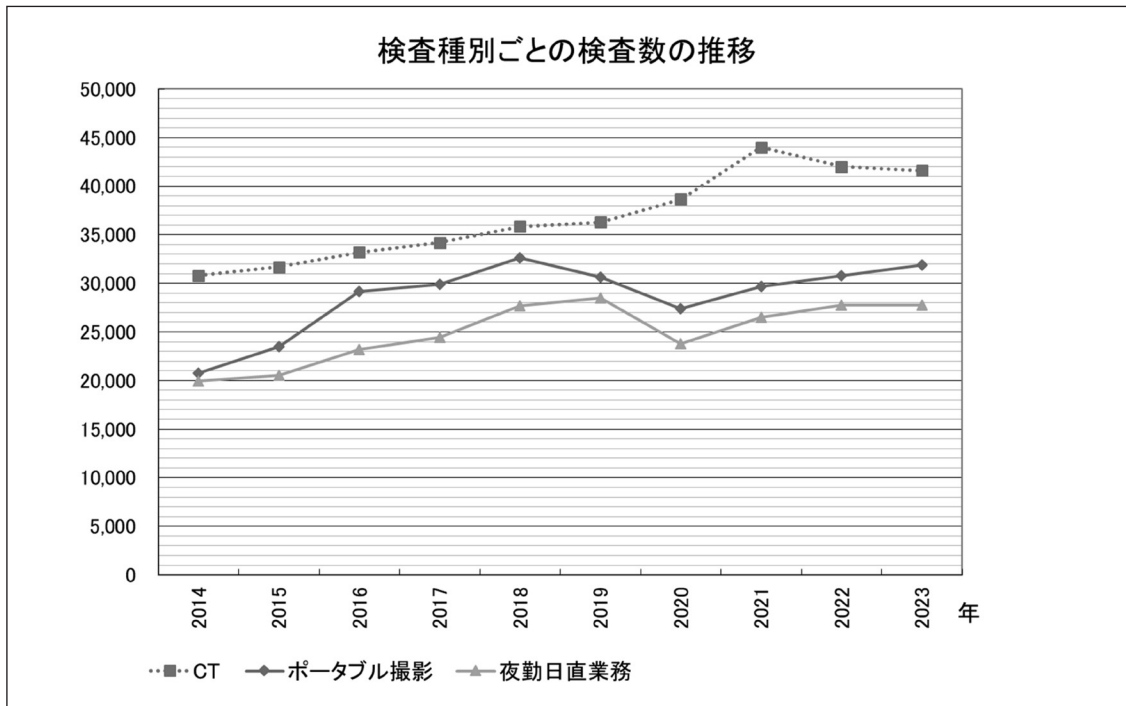
2 部門の特徴

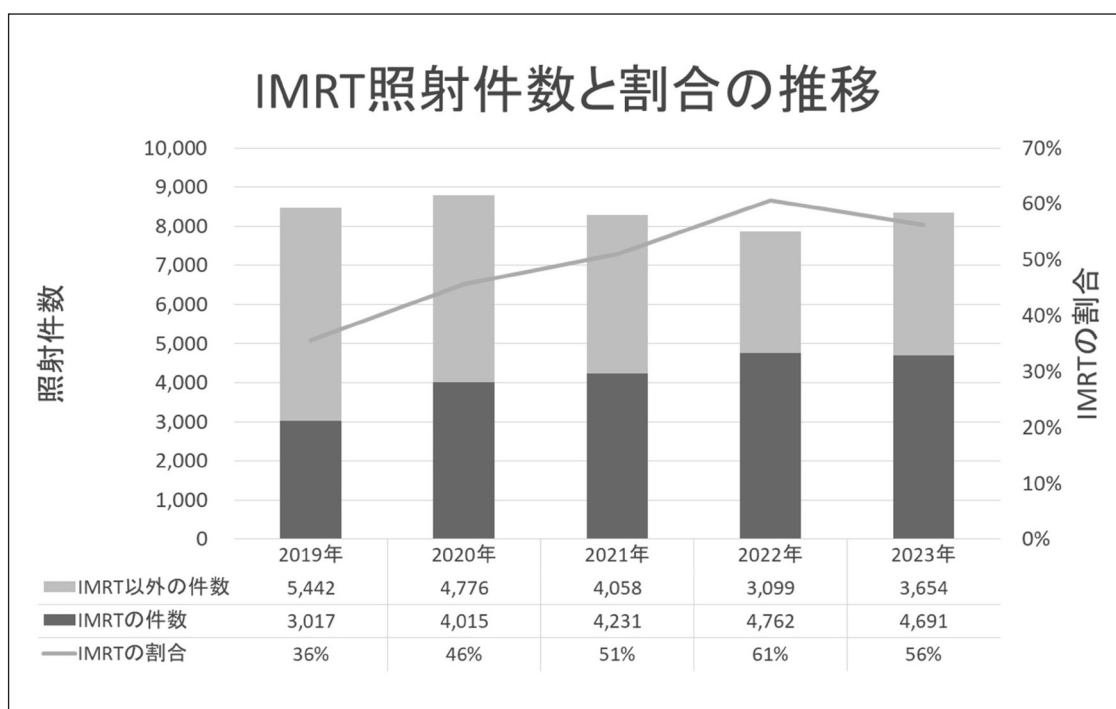
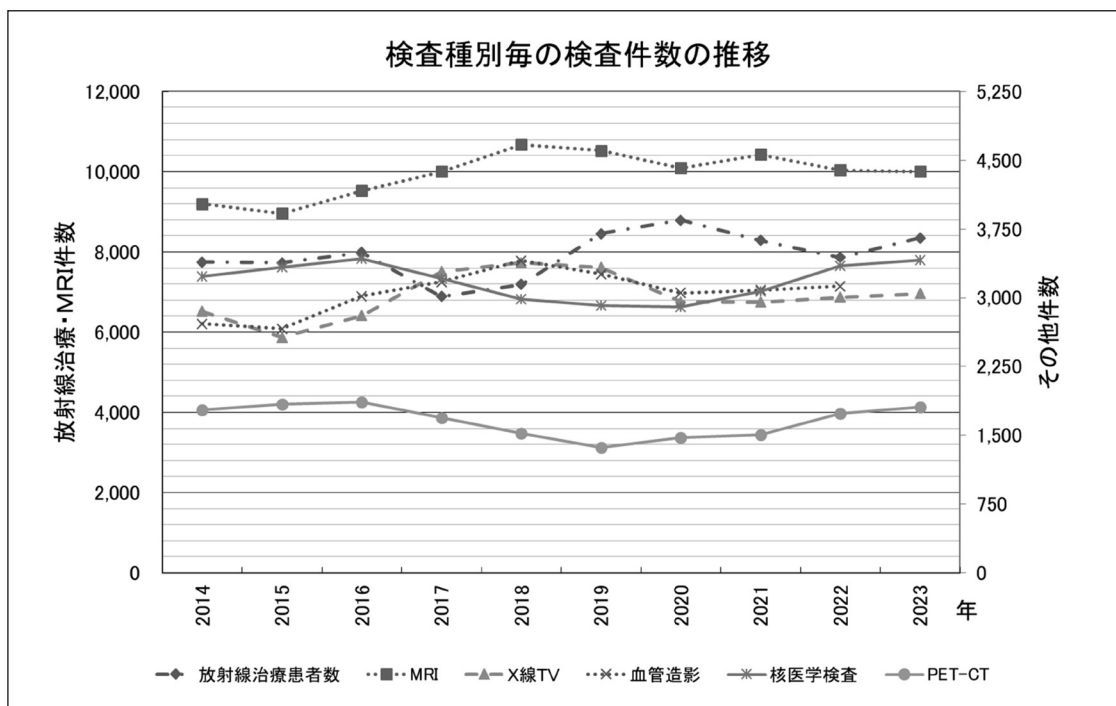
認定技師
医学物理士 2名
放射線治療品質管理士 1名
放射線治療専門放射線技師 2名
Ai認定診療放射線技師 3名
X線CT認定技師 7名
第一種放射線取扱主任者 2名
磁気共鳴専門技術者 2名
検診マンモグラフィ撮影認定技師 4名
放射線管理士 1名
放射線機器管理士 1名
画像等手術支援認定技師 1名

3 実績・クリニカルインディケーター

過去5年間 検査実績

年	2019	2020	2021	2022	2023
CT	36,290	38,673	44,018	41,938	41,611
MR	10,529	10,090	10,428	10,034	9,999
一般撮影	89,462	79,733	88,098	87,835	87,956
X線TV	3,330	2,955	2,951	3,005	3,045
血管造影	3,367	3,198	3,256	3,125	3,159
ポータブル撮影	30,609	27,372	29,690	30,809	31,909
夜勤・日直業務	28,518	23,801	26,536	27,772	27,763
PET-CT	1,370	1,472	1,509	1,739	1,806
放射線治療	8,458	8,791	8,289	7,861	8,345
病診連携業務	19,114	10,885	12,040	13,261	13,023





4 評価と展望

昨年に引き続き2023年も、CT/MRIの検査総数は、年間5万件を超え、PET-CT検査も過去5年間で最高数を更新するなど、放射線部として病院診療に貢献することができた。特にPET検査はアミロイドPETの施設認証をとり、アミロイドPET健診などの取り組みを埼玉県内で他院に先駆けて行ってきた。また今年、告示研修を修了した放射線技師は5名であったが、来年以降もその数を増やし、医師、看護師からのタスクシェアを進めていきたい。

放射線治療では、全照射件数は横ばいで推移しているが、2021年以降のIMRT（強度変調放射線治療）の割合は50%以上の高水準を保っており、高精度照射を中心とした放射線治療が実践されている。今後は設備の充実によって、高精度治療への適応を更に拡大して行く。